

# 市長が行く

茂原市長

No.24

田 中 豊 彦



## 大きいなる遺産

市長に就任以来、負の遺産である茂原市の借金を少しでも早く減らすことを念頭におき、行財政運営に力を注いきました。少しずつですが、着実に成果は上がっています。

簡単に例を挙げると、まず、先延ばしにしていて処理できなかつた「ひめのはるの里」を民間に貸付けし、年間約3000万円の支出を減らし、約570万円の増収になつたこと。長生病院の長期借入金約20億を高金利（5%～7%）から低金利へ借り換え変更することで、10年で約6億1000万円、年間で約6100万円の支出がおさえられたこと。また給食公社を解散し、給食業務を民間に委託したこと、年間で約1億7600万円支出が減つたこと。ひとつひとつは小さくとも、それを積み重ねていくことは大切です。

そして、平成18年度に約817億円あつた茂原市の借金は、平成22年度末には約692億円にまで減る見込みになりました。もちろん、茂原市にしつかりした行財政計画があつたことがとても重要で、それに基づいて段階的に市職員の人員を削減したり、給料・手当を減額したりしたことも大きかつたと思っています。

まだまだ気が抜けない財政状況ではあります、それでも財政が健全化に向かっていることは間違いない、なかなか計画を立てても

実行することの難しい中、ここまで進んでこられたことはとてもあります。それについても不安なのは、日本での行く末です。

茂原市でさえ負の遺産を整理するのに、行財政計画を立て着実に借金を減らしていくのに、国の借金は一向に減る兆しが見られないからです。

やつと民主党の代表選挙が終りましたが、私は少しでも早く行財政改革に真剣に取り組んではしないと言いたい。今や多くの知識人が提言しているように、「国の負の遺産」をいかに減らすか、また財政の均衡をどうしたらとれるようになるのか、あらゆる手段を使つて早急に対応すべき時と考えます。900兆とも1000兆とも言われる「国の負の遺産」問題を先送りにすることは許されないことです。とにかく何か手を打つてほしい。この国難を克服するためには、「民主党」だろうが、「自民党」だろうが、「他の政党」だろうが党派を超えて、スピード感を持つて大同団結して取り組んでいくことが大事と考えます。ことはそれほど急を要する問題です。国が傾いたら、地方は生きていくすべがないのですから。ある新聞の社説に「未熟な政治は成熟した国民についていけない」とありました。

自戒も含めて、成熟した政治を私は望みます。